

雲邊月色人千里竹
裏秋聲酒一壺

成家松原華月

雲邊月色人千里
竹裏秋聲酒一壺

成家伊良子喜代

雲邊月色人千里竹
裏秋聲酒一壺

成家植井末美

雲邊月色人千里
竹裏秋聲酒一壺

師範正榎藤陽子

雲邊月色人千里竹
裏秋聲酒一壺

師範正佐田馨春

雲邊月色人千里
竹裏秋聲酒一壺

師範久保象雲

雲邊月色人千里竹
裏秋聲酒一壺

師範由留部裕美子

雲邊月色人千里竹
裏秋聲酒一壺

師範川野藍秀

雲邊月色人千里竹
裏秋聲酒一壺

師範小野豊苑

雲邊月色人千里
竹裏秋聲酒一壺

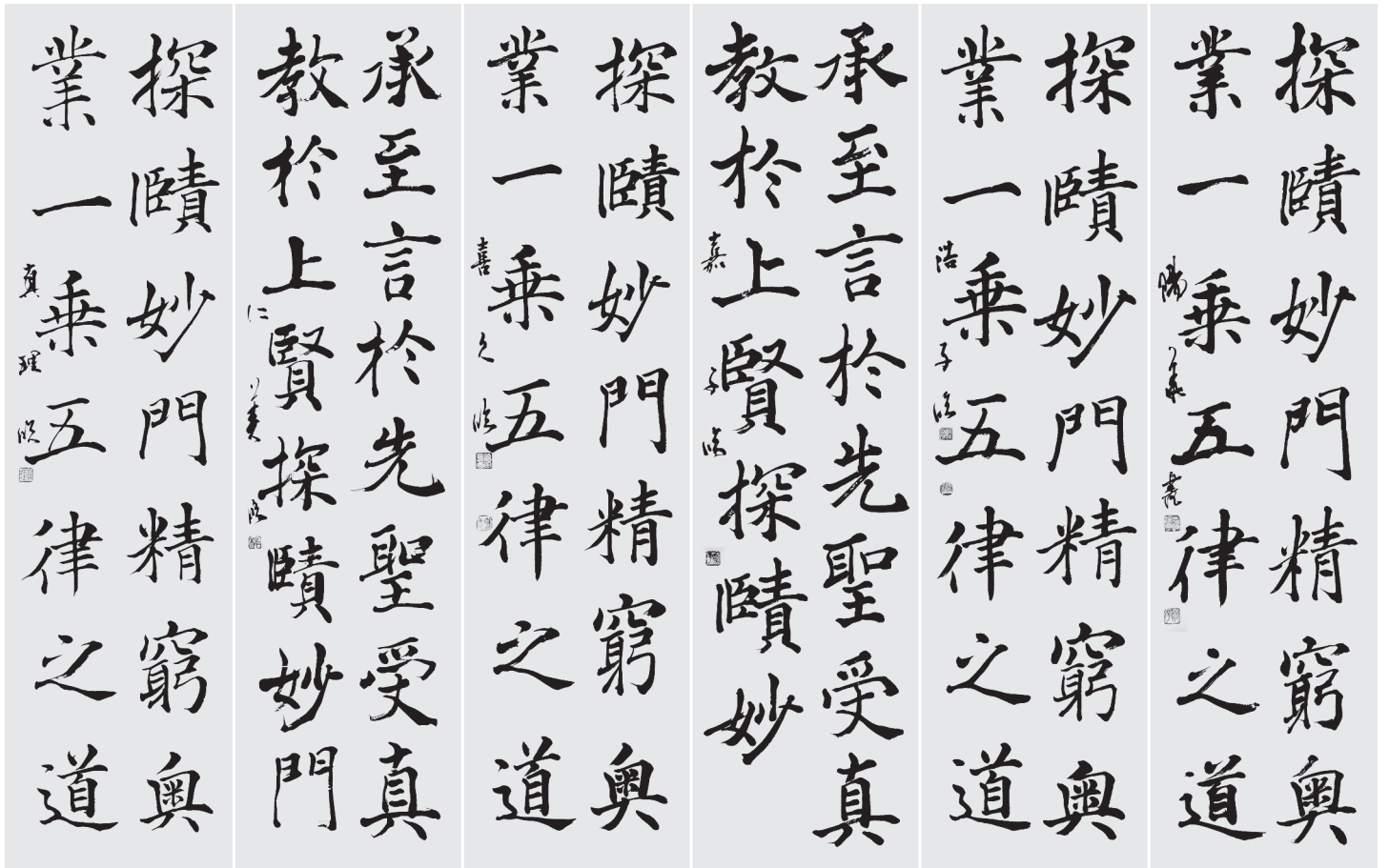
師範大石玉翠

雲邊月色人千里
竹裏秋聲酒一壺

準師範鮎川香翠

雲邊月色人千里
竹裏秋聲酒一壺

三段飯塚敏子



師範正
鳥飼真理

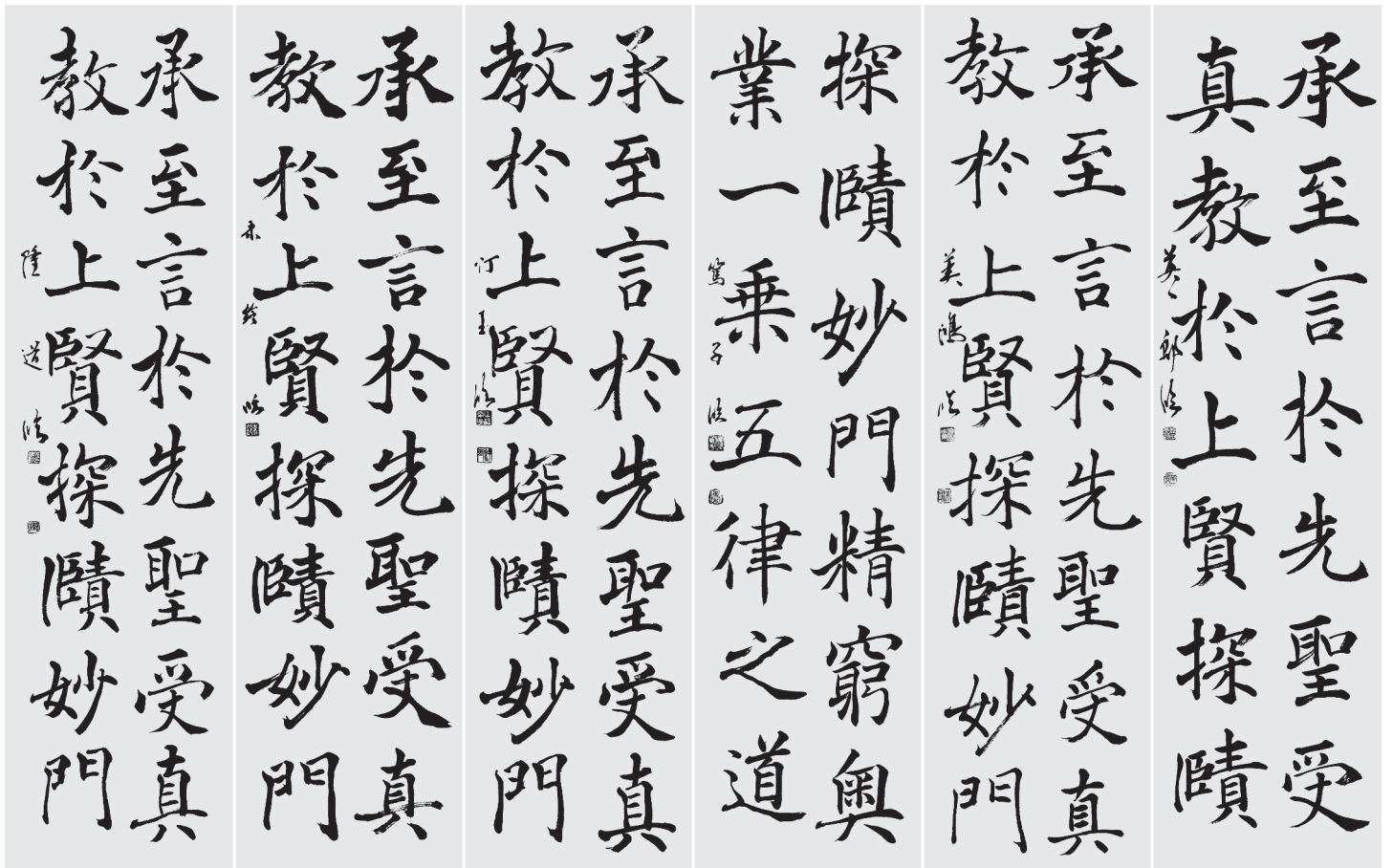
師範正
徳永仁美

師範正
福田喜久恵

師範正
村上嘉子

成家
阪井浩子

成家
志岐陽華



三段
佐々木隆道

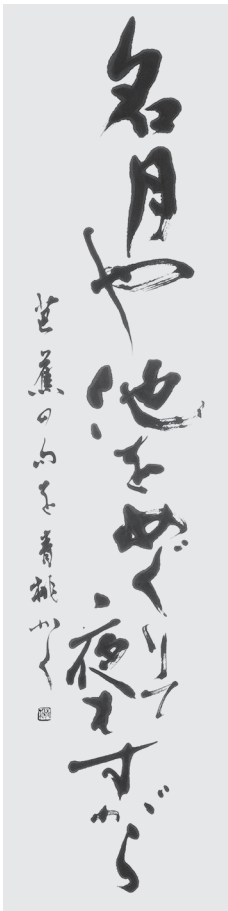
準五段
小川未鈴

師範
山根汀玉

師範
檜橋篤子

師範
榎園美鴻

師範
佐田英一郎



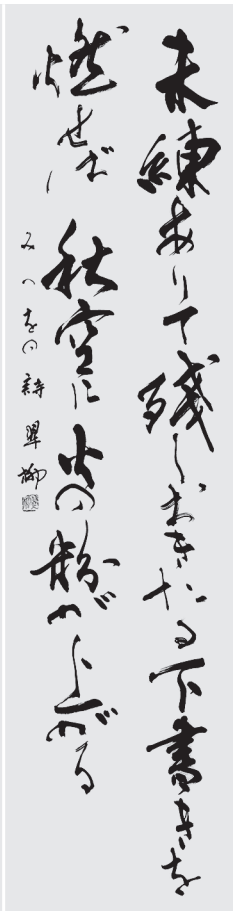
師範正
白石青桃



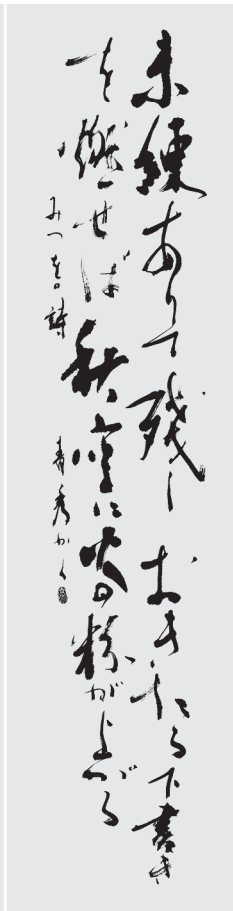
師範正
藤秀月



師範正
鹿毛純光



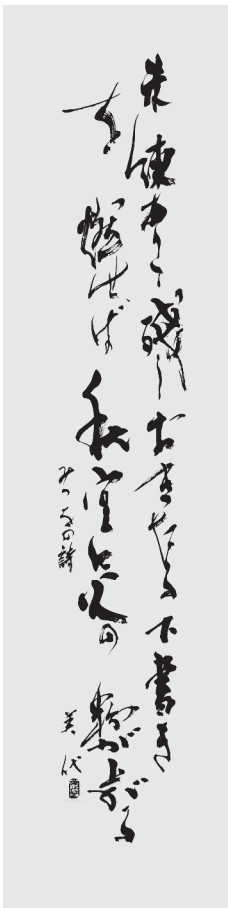
師範正
重富翠柳



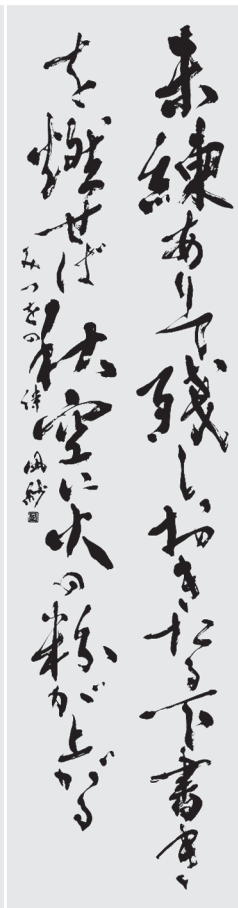
成家
細田青秀



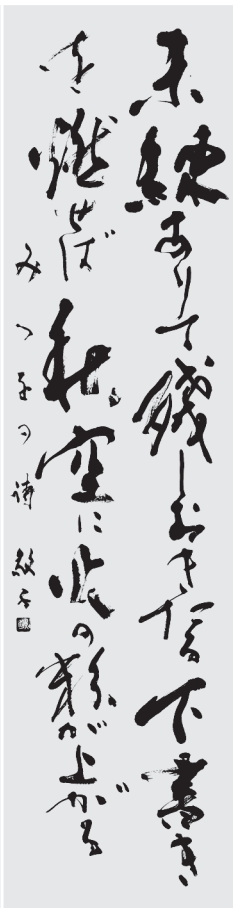
成家
木下美鳳



準三段
井口美代子



準五段
河野風紗



準師範
鎌田敬子



師範
久保象雲



師範
松本恵華



師範
副島真知子



準師範
岡野 緑 泉



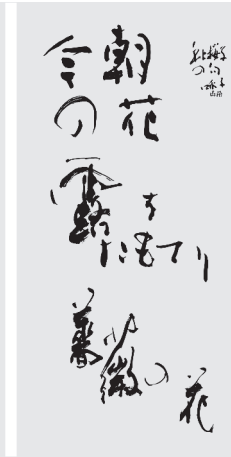
師 範
龍 由 香 里



師 範
谷 山 照 軒



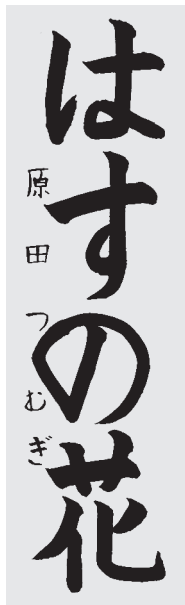
師範正
椋 澤 美 奈



成 家
足 立 和 子



成 家
石 橋 芝 水



小4.準二段
原 田 つむぎ



小4.準五段
徳 丸 叶 菜



小3.準6級
緒方りゅう星



小3.準2級
下 村 翠 月



小2.準1級
田中りょうか



小2.6級
行 武 ふみか



小1.準7級
しだら せ な



中1.六段
舟 森 優 太 郎



中2.六段
黒 谷 文 香



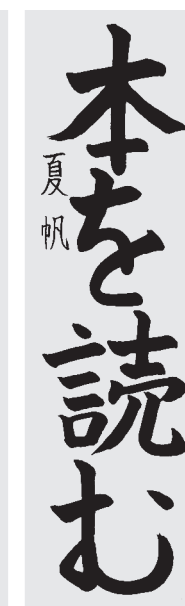
中3.準特待生
田 崎 佳 凜



小6.六段
藤 本 彩 花



小6.準五段
沖 ほのか

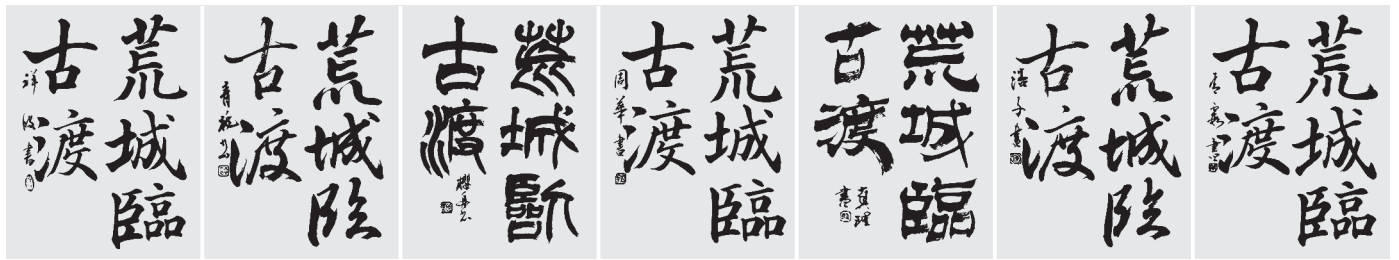


小5.準1級
広 末 夏 帆



小5.準五段
嶋 村 美 友

半紙規定優秀作品 (9月末日締切分)



師範
豐嶋祥波

師範正
白石青桃

師範正
内梨櫻舟

師範正
重松周華

師範正
鳥飼真理

成家
阪井浩子

成家
立谷青霞



準師範
平岡成子

準師範
池田静玉

師範
寺崎美千代

師範
久藤蓬生

師範
身深俊子

師範
龍由香里

師範
福沢由美子



準五段
廣瀬純子

五段
高森美奈子

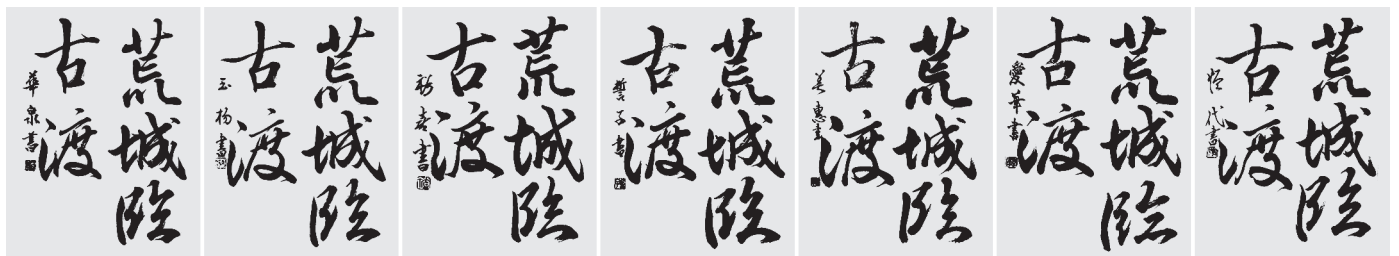
五段
坂田真澄

準六段
畑地環

準六段
森松美翠

六段
高嶋寿子

準師範
荻原白龍



準三段
甲田華泉

準三段
柴田玉楊

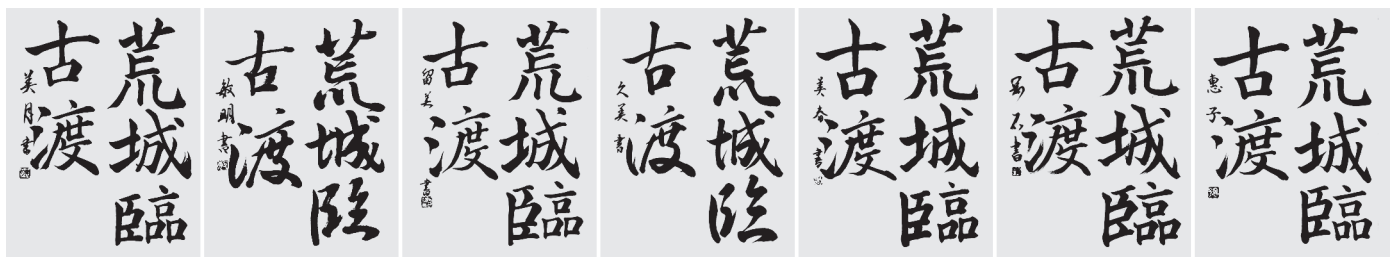
三段
元永裕喜

三段
長野誓子

準四段
別府美恵子

四段
弓削愛華

準五段
前川恒代



準2級
梶村美月

2級
重松敏明

準1級
増田留美

1級
寒竹久美

初段
白石美春

準二段
大深剛石

準三段
眞崎恵子



準8級
農守浩幸

準6級
池畑三希

6級
野見山里美

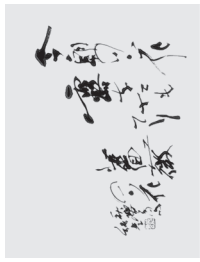
5級
大谷恵子

準4級
田中美優

4級
船杉美妃

3級
荒井桜華

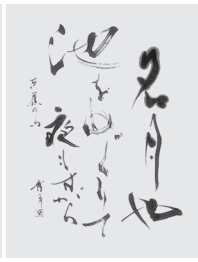
半紙随意優秀作品 (9月末日締切分)



師範正
鹿毛純光



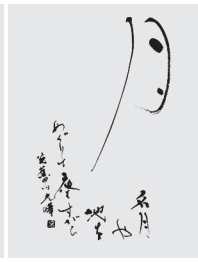
師範正
平田春容



師範正
藤秀月



成家
安仲夕蟬



成家
茶圓光嘩



成家
石橋芝水



成家
志岐陽華



師範
久保菜雨



師範
坂本奈保子



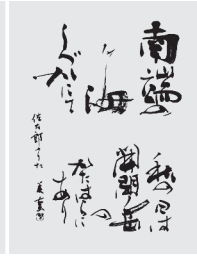
師範
久保象雲



師範
力岡紫峰



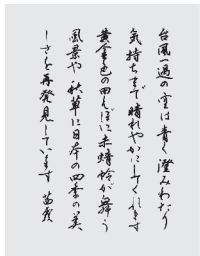
師範正
上津原踏月



師範正
樺澤美奈



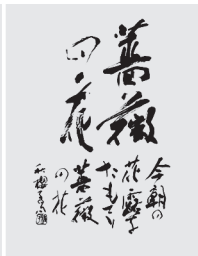
師範正
久保博恵



六段
宮崎茜霞



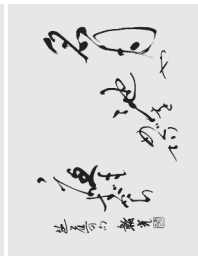
六段
住田紫苑



準師範
松崎雅子



準師範
工藤緑風



師範
安永韜光



師範
藤永琇雲



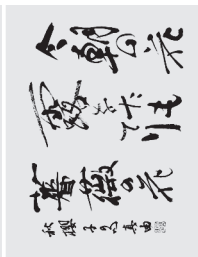
師範
由留部裕美子



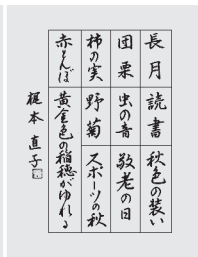
準三段
井口美代子



三段
佐々木隆道



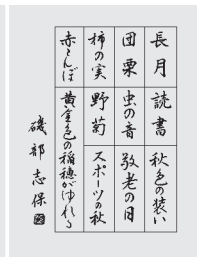
準四段
岡田真由子



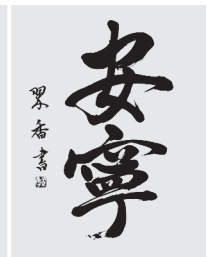
四段
梶本直子



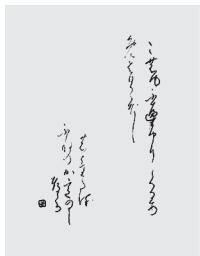
準五段
奥村直美



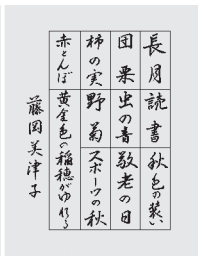
五段
磯部志保



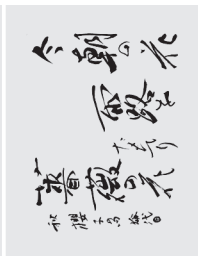
準六段
菊竹翠香



準2級
佐藤友紀



2級
藤岡美津子



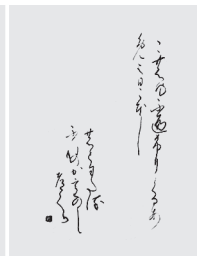
準1級
鐘ヶ江倫代



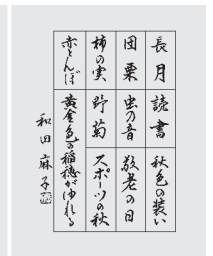
準初段
西村恵水



準二段
松本華月



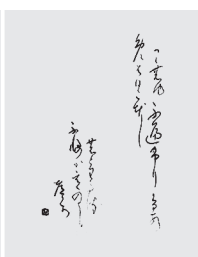
二段
富安裕子



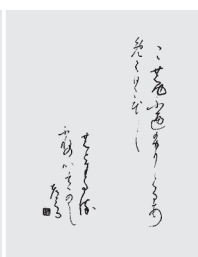
準三段
和田麻子



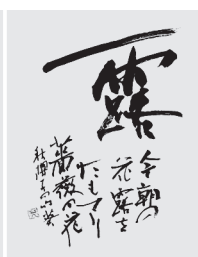
準8級
吉田琉華



8級
友利康代



6級
吉田瑞恵



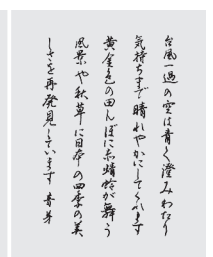
準5級
田中葵



5級
岩屋こずえ



準3級
小川優子



3級
江崎音芽

半紙随意(臨書)優秀作品 (9月末日締切分)

師範 永野扶美恵	師範正 小野義之	師範正 福田喜久恵	師範正 吉田美津子	師範正 池田白梨	成家 梶井末美	成家 松原華月
六段 続米ノブ子	準師範 和田青陽	準師範 矢治光子	師範 坂本久子	師範 副島汀泉	師範 今村美萌	師範 松永美貂
準五段 白濱かずみ	五段 宮永郁美	五段 坂本冬湖	準六段 松本香蓮	準六段 西村美実	準六段 三原祝子	準六段 穂枝和久
準二段 工藤順子	準三段 井上貴子	準三段 沖田三和子	三段 志摩秀香	四段 福山明華	準五段 明石和代	準五段 山本佐智
準3級 高田茉奈	準3級 江下舞華	準2級 三宮茉和	準初段 植木美佐	初段 御手洗彩香	初段 草場富美子	準二段 松本華月
準6級 新宮明子	6級 井上瑞稀	準5級 田中葵	準5級 岡村美穂子	5級 高倉紀美子	準4級 立和田美穂	4級 打田美晴

半紙優秀作品 (9月末日締切分)



7 級
成 清 遥 斗

準6級
八 嶋 里 彩 子

準4級
沢 田 琴 葉

4 級
田 嶋 咲 月

準四段
野 田 祐 佳

準8級
井 上 ま お

準7級
こいしすずか



準4級
林 優 花

4 級
大 羽 彩 華

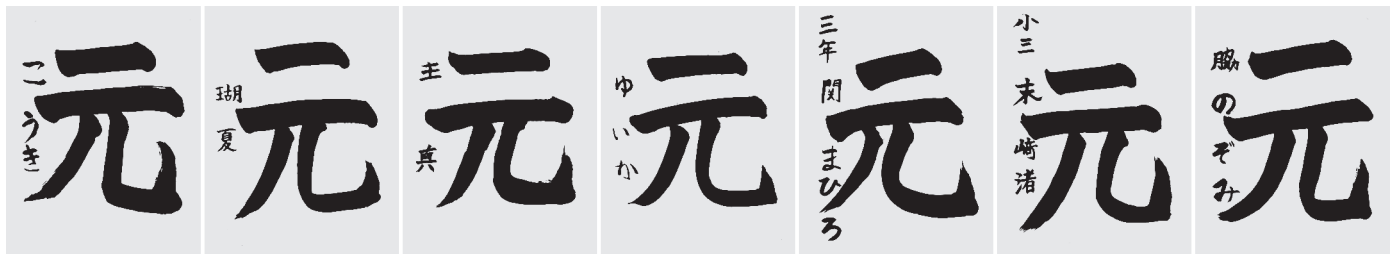
準3級
世 良 礼 央 斗

準2級
本 田 侑 愛

準1級
藤 田 ま い

準8級
高 橋 愛 奈

準7級
藤 原 莉 菜



準7級
吉 原 幸 輝

7 級
佐 藤 瑚 夏

準6級
入 江 主 真

6 級
奥 信 ゆ い か

準5級
関 まひろ

5 級
末 崎 渚

5 級
脇 望 美



準5級
浅 見 颯 大

5 級
本 村 未 来 翔

準4級
中 村 義 士

3 級
吉 次 麟 太 郎

準1級
眞 弓 桜 子

初 段
藤 山 結 香

準二段
松 本 幸 大



四 段
光 武 梨 奈

準五段
岡 本 み な み

準8級
喜 多 村 咲 希

8 級
中 島 佑 和

準7級
堀 口 暖

7 級
安 部 文 哉

準6級
鹿 村 柚 葉



6 級
片 峯 愛 翔

4 級
戸 田 結 愛

準1級
広 末 夏 帆

準初段
竹 田 妃 那

準二段
井 元 め い

準三段
村 岡 那 菜

三 段
有 吉 彩 恵

毛筆・硬筆優秀作品 (9月末日締切分)



準四段 篠崎真綾 四段 世良果恋 五段 横田せいら 準六段 大橋遥夏 六段 藤本彩花 準特待生 野見山詠音 準7級 芝陽奈詩



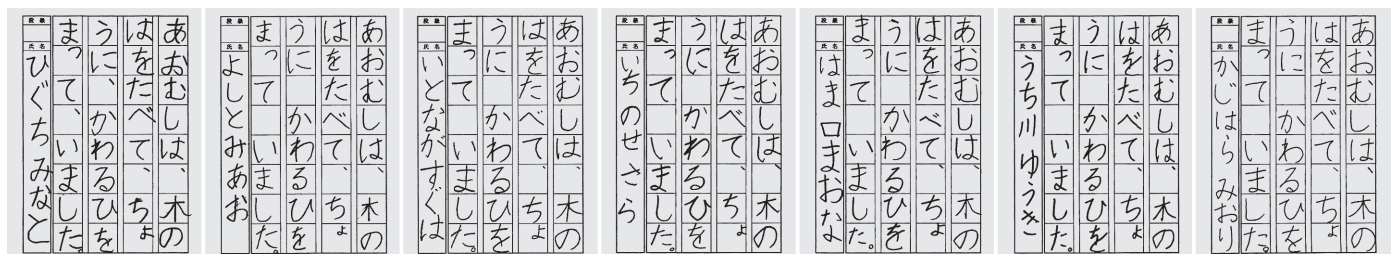
特待生 佐々木更 準2級 妹川杏実 準初段 大谷結来菜 準二段 田佳禾 二段 荒巻佳菜子 準三段 中嶋良々 三段 澁田知成



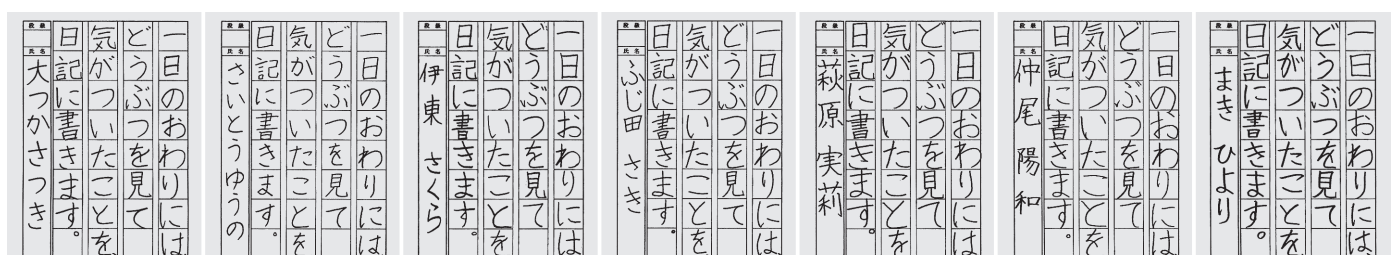
特待生 高橋知暉 二段 塚本紫音 準三段 安藤菜々子 四段 加川莉緒 五段 原口澤 準六段 成澤清那 六段 舟森優太郎



準三段 石飛春太郎 四段 柴田翔広 五段 安藤実央 準六段 高村さくら 六段 金子小和 準特待生 鶴崎栞奈 特待生 中山琴音



準8級 ひぐちみなと 準8級 吉富あお 8級 糸永直葉 準7級 いちのせさら 準7級 濱口真音奈 7級 うち川ゆうき 準6級 梶原美織



準5級 大塚さつき 5級 斉藤優乃 準4級 伊東さくら 準3級 藤田さき 準3級 萩原実莉 準2級 仲尾陽和 準1級 まきひより

硬筆優秀作品（9月末日締切分）

ポスターは言葉と写真、絵などを組み合わせて、人を引きつけるくふうがされています。 ★★南 まいか	ポスターは言葉と写真、絵などを組み合わせて、人を引きつけるくふうがされています。 ★★長谷部 さら	ポスターは言葉と写真、絵などを組み合わせて、人を引きつけるくふうがされています。 ★★下村 翠月	ポスターは言葉と写真、絵などを組み合わせて、人を引きつけるくふうがされています。 ★★森崎 優衣	一日のおわりには、どうぶつを見て、気がついたことを日記に書きます。 ★★竹下 理翔	一日のおわりには、どうぶつを見て、気がついたことを日記に書きます。 ★★かい田 光り	一日のおわりには、どうぶつを見て、気がついたことを日記に書きます。 ★★小森 そうた
2 級 南 まいか	1 級 長谷部 さら	準初段 下村 翠月	初 段 森崎 優衣	7 級 竹下 理翔	準6級 海田 ひかり	6 級 小森 そうた
ポスターは言葉と写真、絵などを組み合わせて、人を引きつけるくふうがされています。 ★★中村 ゆな	ポスターは言葉と写真、絵などを組み合わせて、人を引きつけるくふうがされています。 ★★定 わかな	ポスターは言葉と写真、絵などを組み合わせて、人を引きつけるくふうがされています。 ★★ふじ井 美咲	ポスターは言葉と写真、絵などを組み合わせて、人を引きつけるくふうがされています。 ★★荒尾 心愛	ポスターは言葉と写真、絵などを組み合わせて、人を引きつけるくふうがされています。 ★★本山 りお	ポスターは言葉と写真、絵などを組み合わせて、人を引きつけるくふうがされています。 ★★中嶋 汐莉	ポスターは言葉と写真、絵などを組み合わせて、人を引きつけるくふうがされています。 ★★大羽 彩華
準6級 中村 ゆな	6 級 定 わかな	5 級 藤井 美咲	準4級 荒尾 心愛	4 級 本山 りお	4 級 中嶋 汐莉	準3級 大羽 彩華
アフガニスタンの子どもたちは学校に行くことで、まわりの人を助け人の役に立ちたいと思っています。 ★★川端 啓仁	アフガニスタンの子どもたちは学校に行くことで、まわりの人を助け人の役に立ちたいと思っています。 ★★前田 仁美	アフガニスタンの子どもたちは学校に行くことで、まわりの人を助け人の役に立ちたいと思っています。 ★★登 千聡	アフガニスタンの子どもたちは学校に行くことで、まわりの人を助け人の役に立ちたいと思っています。 ★★豊田 龍星	アフガニスタンの子どもたちは学校に行くことで、まわりの人を助け人の役に立ちたいと思っています。 ★★野本 凜	アフガニスタンの子どもたちは学校に行くことで、まわりの人を助け人の役に立ちたいと思っています。 ★★一番ヶ瀬 太陽	アフガニスタンの子どもたちは学校に行くことで、まわりの人を助け人の役に立ちたいと思っています。 ★★田代 悠
準1級 川端 啓仁	1 級 前田 仁美	準初段 登 千聡	準二段 豊田 龍星	準二段 野本 凜	二 段 一番ヶ瀬 太陽	準四段 田代 悠
どうしてだれも、この子のことを覚えていないのかな。そのとき、駅前広場のスピーカーから、おなじみのメロディチャイムが聞こえてきた。五時だ。 ★★納富 梨央	どうしてだれも、この子のことを覚えていないのかな。そのとき、駅前広場のスピーカーから、おなじみのメロディチャイムが聞こえてきた。五時だ。 ★★岡本 みなみ	アフガニスタンの子どもたちは学校に行くことで、まわりの人を助け人の役に立ちたいと思っています。 ★★大庭 結愛	アフガニスタンの子どもたちは学校に行くことで、まわりの人を助け人の役に立ちたいと思っています。 ★★森 柚稀	アフガニスタンの子どもたちは学校に行くことで、まわりの人を助け人の役に立ちたいと思っています。 ★★岡崎 陽花	アフガニスタンの子どもたちは学校に行くことで、まわりの人を助け人の役に立ちたいと思っています。 ★★田坂 柚佳	アフガニスタンの子どもたちは学校に行くことで、まわりの人を助け人の役に立ちたいと思っています。 ★★樋口 由莉
四 段 納富 梨央	準五段 岡本 みなみ	5 級 大庭 結愛	4 級 森 柚稀	準3級 岡崎 陽花	3 級 田坂 柚佳	3 級 樋口 由莉
どうしてだれも、この子のことを覚えていないのかな。そのとき、駅前広場のスピーカーから、おなじみのメロディチャイムが聞こえてきた。五時だ。 ★★濱 結衣	どうしてだれも、この子のことを覚えていないのかな。そのとき、駅前広場のスピーカーから、おなじみのメロディチャイムが聞こえてきた。五時だ。 ★★坂本 燐梨	アフガニスタンの子どもたちは学校に行くことで、まわりの人を助け人の役に立ちたいと思っています。 ★★阪 祐人	アフガニスタンの子どもたちは学校に行くことで、まわりの人を助け人の役に立ちたいと思っています。 ★★小川 結生	アフガニスタンの子どもたちは学校に行くことで、まわりの人を助け人の役に立ちたいと思っています。 ★★吉泉 光琉	アフガニスタンの子どもたちは学校に行くことで、まわりの人を助け人の役に立ちたいと思っています。 ★★有吉 彩恵	アフガニスタンの子どもたちは学校に行くことで、まわりの人を助け人の役に立ちたいと思っています。 ★★峯 優月
準2級 濱 結衣	1 級 坂本 燐梨	準初段 阪 祐人	準三段 小川 結生	三 段 吉泉 光琉	三 段 有吉 彩恵	準四段 峯 優月
不意に、ハクトウワシが森の中から、まじり頭上を飛び去ってゆきました。ばくが、この森に近づいてくるのを、ハクトウワシはじっと見ていたのです。 ★★井上 鈴菜	不意に、ハクトウワシが森の中から、まじり頭上を飛び去ってゆきました。ばくが、この森に近づいてくるのを、ハクトウワシはじっと見ていたのです。 ★★沖 ほのか	不意に、ハクトウワシが森の中から、まじり頭上を飛び去ってゆきました。ばくが、この森に近づいてくるのを、ハクトウワシはじっと見ていたのです。 ★★金石 みのり	不意に、ハクトウワシが森の中から、まじり頭上を飛び去ってゆきました。ばくが、この森に近づいてくるのを、ハクトウワシはじっと見ていたのです。 ★★深田 心瑚	不意に、ハクトウワシが森の中から、まじり頭上を飛び去ってゆきました。ばくが、この森に近づいてくるのを、ハクトウワシはじっと見ていたのです。 ★★鎌田 藍	不意に、ハクトウワシが森の中から、まじり頭上を飛び去ってゆきました。ばくが、この森に近づいてくるのを、ハクトウワシはじっと見ていたのです。 ★★藤本 彩花	どうしてだれも、この子のことを覚えていないのかな。そのとき、駅前広場のスピーカーから、おなじみのメロディチャイムが聞こえてきた。五時だ。 ★★松本 愛枝
四 段 井上 鈴菜	準五段 沖 ほのか	準五段 金石 みのり	準五段 深田 心瑚	五 段 鎌田 藍	準六段 藤本 彩花	準7級 松本 愛枝

硬筆優秀作品（9月末日締切分）

不意にハクトウフシが森の中からまじ上がり頭上を飛び去ってゆきました。ばくがこの森に近づいてくるのをハクトウフシはじっと見ていたのです。 ■■■■ 尾田 舞	不意にハクトウフシが森の中からまじ上がり頭上を飛び去ってゆきました。ばくがこの森に近づいてくるのをハクトウフシはじっと見ていたのです。 ■■■■ 牧野 紗世	不意にハクトウフシが森の中からまじ上がり頭上を飛び去ってゆきました。ばくがこの森に近づいてくるのをハクトウフシはじっと見ていたのです。 ■■■■ 鈴木 虎太郎	不意にハクトウフシが森の中からまじ上がり頭上を飛び去ってゆきました。ばくがこの森に近づいてくるのをハクトウフシはじっと見ていたのです。 ■■■■ 後藤 紗那	不意にハクトウフシが森の中からまじ上がり頭上を飛び去ってゆきました。ばくがこの森に近づいてくるのをハクトウフシはじっと見ていたのです。 ■■■■ 山本 琴乃	不意にハクトウフシが森の中からまじ上がり頭上を飛び去ってゆきました。ばくがこの森に近づいてくるのをハクトウフシはじっと見ていたのです。 ■■■■ 中 桐 結	不意にハクトウフシが森の中からまじ上がり頭上を飛び去ってゆきました。ばくがこの森に近づいてくるのをハクトウフシはじっと見ていたのです。 ■■■■ 宮原 蒼心
特待生 尾田 舞	準5級 牧野 紗世	5 級 鈴木 虎太郎	3 級 後藤 紗那	3 級 山本 琴乃	初 段 中 桐 結	準二段 宮原 蒼心
不意にハクトウフシが森の中からまじ上がり頭上を飛び去ってゆきました。ばくがこの森に近づいてくるのをハクトウフシはじっと見ていたのです。 ■■■■ 桃坂 真由	不意にハクトウフシが森の中からまじ上がり頭上を飛び去ってゆきました。ばくがこの森に近づいてくるのをハクトウフシはじっと見ていたのです。 ■■■■ 田中 愛夏	不意にハクトウフシが森の中からまじ上がり頭上を飛び去ってゆきました。ばくがこの森に近づいてくるのをハクトウフシはじっと見ていたのです。 ■■■■ 清川 詩乃	不意にハクトウフシが森の中からまじ上がり頭上を飛び去ってゆきました。ばくがこの森に近づいてくるのをハクトウフシはじっと見ていたのです。 ■■■■ 寶藏寺 紗和	不意にハクトウフシが森の中からまじ上がり頭上を飛び去ってゆきました。ばくがこの森に近づいてくるのをハクトウフシはじっと見ていたのです。 ■■■■ 岩川 歩愛	不意にハクトウフシが森の中からまじ上がり頭上を飛び去ってゆきました。ばくがこの森に近づいてくるのをハクトウフシはじっと見ていたのです。 ■■■■ 坂口 陽妃	不意にハクトウフシが森の中からまじ上がり頭上を飛び去ってゆきました。ばくがこの森に近づいてくるのをハクトウフシはじっと見ていたのです。 ■■■■ 西村 咲希
五 段 桃坂 真由	準六段 田中 愛夏	準六段 清川 詩乃	六 段 寶藏寺 紗和	六 段 岩川 歩愛	準特待生 坂口 陽妃	準特待生 西村 咲希
不意にハクトウフシが森の中からまじ上がり頭上を飛び去ってゆきました。ばくがこの森に近づいてくるのをハクトウフシはじっと見ていたのです。 ■■■■ 福谷 夏菜	不意にハクトウフシが森の中からまじ上がり頭上を飛び去ってゆきました。ばくがこの森に近づいてくるのをハクトウフシはじっと見ていたのです。 ■■■■ 藤原 沙弥佳	不意にハクトウフシが森の中からまじ上がり頭上を飛び去ってゆきました。ばくがこの森に近づいてくるのをハクトウフシはじっと見ていたのです。 ■■■■ 石飛 春太郎	不意にハクトウフシが森の中からまじ上がり頭上を飛び去ってゆきました。ばくがこの森に近づいてくるのをハクトウフシはじっと見ていたのです。 ■■■■ 鶴岡 紗羽	不意にハクトウフシが森の中からまじ上がり頭上を飛び去ってゆきました。ばくがこの森に近づいてくるのをハクトウフシはじっと見ていたのです。 ■■■■ 松本 涉	不意にハクトウフシが森の中からまじ上がり頭上を飛び去ってゆきました。ばくがこの森に近づいてくるのをハクトウフシはじっと見ていたのです。 ■■■■ 神武 帆奏	不意にハクトウフシが森の中からまじ上がり頭上を飛び去ってゆきました。ばくがこの森に近づいてくるのをハクトウフシはじっと見ていたのです。 ■■■■ 宮木 理子
準三段 福谷 夏菜	三 段 藤原 沙弥佳	準四段 石飛 春太郎	四 段 鶴岡 紗羽	準五段 松本 涉	準五段 神武 帆奏	五 段 宮木 理子
無地の食器は料理を引き立てる。自らの個性を封じ背景に徹すること。食材の色が一つ前に出るのだから、白い血は何かを盛ることで生かされ、逆に何もせなければ物悲しい。 ■■■■ 小林 智子	無地の食器は料理を引き立てる。自らの個性を封じ背景に徹すること。食材の色が一つ前に出るのだから、白い血は何かを盛ることで生かされ、逆に何もせなければ物悲しい。 ■■■■ 松本 桃舟	無地の食器は料理を引き立てる。自らの個性を封じ背景に徹すること。食材の色が一つ前に出るのだから、白い血は何かを盛ることで生かされ、逆に何もせなければ物悲しい。 ■■■■ 岡田 真由子	無地の食器は料理を引き立てる。自らの個性を封じ背景に徹すること。食材の色が一つ前に出るのだから、白い血は何かを盛ることで生かされ、逆に何もせなければ物悲しい。 ■■■■ 檜原 友子	無地の食器は料理を引き立てる。自らの個性を封じ背景に徹すること。食材の色が一つ前に出るのだから、白い血は何かを盛ることで生かされ、逆に何もせなければ物悲しい。 ■■■■ 山本 瑛華	無地の食器は料理を引き立てる。自らの個性を封じ背景に徹すること。食材の色が一つ前に出るのだから、白い血は何かを盛ることで生かされ、逆に何もせなければ物悲しい。 ■■■■ 山本 瑛華	無地の食器は料理を引き立てる。自らの個性を封じ背景に徹すること。食材の色が一つ前に出るのだから、白い血は何かを盛ることで生かされ、逆に何もせなければ物悲しい。 ■■■■ 山本 瑛華
準五段 小林 智子	五 段 松本 桃舟	五 段 岡田 真由子	六 段 檜原 友子	準師範 山本 瑛華	師 範 上津原 園子	師範正 中村 浩子
無地の食器は料理を引き立てる。自らの個性を封じ背景に徹すること。食材の色が一つ前に出るのだから、白い血は何かを盛ることで生かされ、逆に何もせなければ物悲しい。 ■■■■ 甲田 青波	無地の食器は料理を引き立てる。自らの個性を封じ背景に徹すること。食材の色が一つ前に出るのだから、白い血は何かを盛ることで生かされ、逆に何もせなければ物悲しい。 ■■■■ 高森 美奈子	無地の食器は料理を引き立てる。自らの個性を封じ背景に徹すること。食材の色が一つ前に出るのだから、白い血は何かを盛ることで生かされ、逆に何もせなければ物悲しい。 ■■■■ 松下 民子	無地の食器は料理を引き立てる。自らの個性を封じ背景に徹すること。食材の色が一つ前に出るのだから、白い血は何かを盛ることで生かされ、逆に何もせなければ物悲しい。 ■■■■ 江崎 果音	無地の食器は料理を引き立てる。自らの個性を封じ背景に徹すること。食材の色が一つ前に出るのだから、白い血は何かを盛ることで生かされ、逆に何もせなければ物悲しい。 ■■■■ 川野 希 實	無地の食器は料理を引き立てる。自らの個性を封じ背景に徹すること。食材の色が一つ前に出るのだから、白い血は何かを盛ることで生かされ、逆に何もせなければ物悲しい。 ■■■■ 長尾 久仁子	無地の食器は料理を引き立てる。自らの個性を封じ背景に徹すること。食材の色が一つ前に出るのだから、白い血は何かを盛ることで生かされ、逆に何もせなければ物悲しい。 ■■■■ 原 久美子
準二段 甲田 青波	二 段 高森 美奈子	準三段 松下 民子	準三段 江崎 果音	三 段 川野 希 實	三 段 長尾 久仁子	準四段 原 久美子
無地の食器は料理を引き立てる。自らの個性を封じ背景に徹すること。食材の色が一つ前に出るのだから、白い血は何かを盛ることで生かされ、逆に何もせなければ物悲しい。 ■■■■ 広瀬 勇気	無地の食器は料理を引き立てる。自らの個性を封じ背景に徹すること。食材の色が一つ前に出るのだから、白い血は何かを盛ることで生かされ、逆に何もせなければ物悲しい。 ■■■■ 松本 恵	無地の食器は料理を引き立てる。自らの個性を封じ背景に徹すること。食材の色が一つ前に出るのだから、白い血は何かを盛ることで生かされ、逆に何もせなければ物悲しい。 ■■■■ 伊藤 沙菜	無地の食器は料理を引き立てる。自らの個性を封じ背景に徹すること。食材の色が一つ前に出るのだから、白い血は何かを盛ることで生かされ、逆に何もせなければ物悲しい。 ■■■■ 森谷 優理子	無地の食器は料理を引き立てる。自らの個性を封じ背景に徹すること。食材の色が一つ前に出るのだから、白い血は何かを盛ることで生かされ、逆に何もせなければ物悲しい。 ■■■■ 橋山 沙叶	無地の食器は料理を引き立てる。自らの個性を封じ背景に徹すること。食材の色が一つ前に出るのだから、白い血は何かを盛ることで生かされ、逆に何もせなければ物悲しい。 ■■■■ 湯谷 望	無地の食器は料理を引き立てる。自らの個性を封じ背景に徹すること。食材の色が一つ前に出るのだから、白い血は何かを盛ることで生かされ、逆に何もせなければ物悲しい。 ■■■■ 清水 健太
準4級 広瀬 勇気	4 級 松本 恵	準3級 伊藤 沙菜	3 級 森谷 優理子	準2級 橋山 沙叶	準初段 湯谷 望	初 段 清水 健太